

7月
25日

穂の赤ちゃん



4 穂の赤ちゃんができていました



これが穂の赤ちゃんかぁ。
できたばかりの穂の赤ちゃんて、
ほんとうに小っちゃいんだね。



でもいまから8月に向けて茎の中で
穂の赤ちゃんが育っているなんて、
なんだか稲っていいわね。



穂の赤ちゃんのことを
「幼穂（ようすい）」というんじやが、
幼穂のそだち具合で穂の出る時期がだいたいわかるんじや。
そのため農家はこのころ毎日、田んぼを回って
幼穂のそだち具合を調べて回っているんじや。



※11枚目の葉が出ているようなら、幼穂ができはじめている可能性があります。
めやすは根元から5～7センチくらい上の部分です。
少しずつ茎を削るようにして中をよく観察してみてください。



観察の ポイント

稲は7月からすでに、茎の中に穂の赤ちゃんを
作りはじめるんじや。
穂の赤ちゃんのことを幼穂（ようすい）、
幼穂が形づくられる時期を幼穂形成期（ようすいけいせいき）と
いうんじやが、
幼穂の育ち具合は、穂がいつ出るかを知るめやすとされておる。
庄内地方ではこのころ、
農家や営農指導員が穂の赤ちゃんのでき具合を
こまめに見て回っておるぞ。

調べてみよう

きみの稲の中でいま、穂の赤ちゃんが何センチくらいに育っていますか？
取り出して調べてみよう。
カッターナイフと定規があれば簡単にできるよ。
稲の茎が抜けにくいときは根もとぎりぎりをはさみで切っかまいません。
くわしく観察するには虫めがねがあるといいよ。